

台風による被害を想定し、被害情報や対応状況等について情報の伝達手段、内容、タイミングなどを確認する演習を32機関の参加により行いました。

【演習日時】平成30年4月24日(火) 9:00~15:30

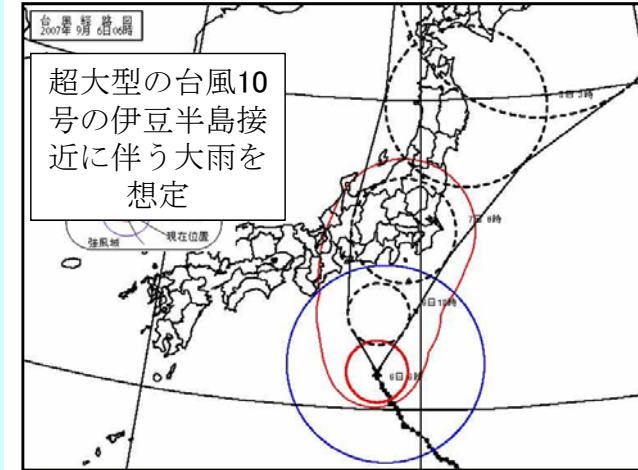
【演習会場】沼津河川国道事務所、各出張所 他(リエゾン派遣先など)

【参加機関】流域7市町、建設コンサルタンツ協会、建設業協会、その他関係機関、中部地方整備局、沼津河川国道事務所、各出張所

【演習内容】

- リエゾン派遣(5市町:沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町)
- 市町とのホットライン
- 危険箇所監視(建設コンサルタンツ協会)
- メーリングリストを使用した関係機関との情報共有、DiMAPS\*の活用
- 排水ポンプ車派遣・放水路ゲート操作・道路雨量規制・各種被災への応急復旧対応(机上)

\* DiMAPSとは、統合災害情報システムで災害発生時に1枚の地図を用いて事前に整備した基礎データ、刻々と変化するリアルタイム情報を重ね合わせ、被災状況を把握・共有し、迅速かつ円滑な応急活動を実施するためのシステム。



想定災害



DiMAPS\*の活用



市町とのホットライン



リエゾン派遣